

研究・研修報告書



令和2年10月26日

小牧市議会議長 様

会派名 無会派 山田 美代子
代表者氏名 山田 美代子

研究・研修の結果を報告します。

記

1 参加議員

山田 美代子

2 日程

令和2年10月26日（月）

3 研究・研修名

議会の広報公聴・質問力レベルアップ講座 in 京都

- ・市民と議会の「もやい直し」：議会広報と市民参加を考える
- ・一般質問の機能を発揮させる：政策をとらえる質問力

4 主催者

（株）地方議会総合研究所

5 会場

京都テルサ 東館2階「視聴覚研修室」

（京都府京都市南区東九条下殿田町70）

6 受講の目的

広報公聴の重要性を学び、市民に議会のことが伝わる「議会だより」の制作方法を学ぶため。

7 主な内容

○市民と議会の「もやい直し」：議会広報と市民参加を考える

(1) 市民と議会のあいだにあるもの

- ・議会、議員は何をしているか市民によく理解されていないことが多く、そのため市民からは議員はいらないと言われることもある。
- ・議会報告会、市民の声を聴く会等は参加者が固定化していて、市民の関心が薄い。市民の関心を高めていくためには、魅力ある議員、魅力ある議会作りが大切になってくる。
- ・自治体は市民にとって、必要不可欠な政策や制度を整備するための機構であり、政策や制度をよりよく整備するためには、費用対効果を考え、議論し、答えを出さねばならない。
- ・最終的な判断は議会にあるので、広く市民の声を常日頃から聞く必要がある。

(2) 広報公聴の他市町村の取り組み事例

- ・「沖縄式地域円卓会議」は三人一組となり、多様な人々が語り合い意見を交換する。三人一組は意見が出やすいので、議論が活発となり、良い答えを出せる。
- ・知立市議会は、「市民と議員の合同研修会」を開催して、講演の感想や意見を四人一組で語り合い、そのコメントを講師がまとめる。
- ・総社市議会の「市民フォーラム」は、議会で議論になった論点を紹介し、参加者に賛成・反対、コメントをもらうようにしている。
- ・飯田市議会の「課題共有型円卓会議」は、委員会として年間テーマを決め、活動を実施し、情報共有して議論していく。
- ・鷹栖町議会は「日曜議会」を開催。周知方法として新聞折込を採用したところ、傍聴者が大変増えた。

○一般質問の機能を発揮させる：政策をとらえる質問力

- ・一般質問は、議員にとって市政に関わる全てのことを質問できる機会であり、委員会に所属していなくても自由に意見でき、理事者の公式見解が得られる。そして議事録に残るものである。
- ・一般質問の組み立て方は論点を整理する。

事実（現状、問題）をできるだけ多く集め、分析し、事実を述べ、主張するのが一般質問の構成である。

ウィキペディアやグーグルは情報が偏っていることがあるので、

要注意。できるだけ漢字熟語は使わずに、中学生が理解できる程度の分かりやすい文にする。

最初と最後に結論を持ってきて、中間に理由をはさむ構成にする。答弁を参考に何が共有できているかを確認し、最後に要望をして終わる。再質問をやりすぎると、論点がぼけるので注意。

一般質問が政策に結びつくことは非常に少ないが、折れずにやることが大切である。

8 所感

参加者は、北は北海道から南は九州宮崎県と全国から見えていた。最後のフリートークでは、相談や質問など時間が足りないほど出され、他市町村議会の現状や問題を数多く知ることができた。

議会の役割はあまり市民に知られておらず、今年は特にコロナ禍で一般質問が取りやめになった自治体も多く、市民に知っていただく機会さえも減ってしまった。そのため、市民から議員はいらないとさえ言われるのが現状である。

このような現状を変えるためには、まず「市民にとっての議会とはなにか」、「議会は何をしているのか」を広く市民に知ってもらう必要がある。そのためのツールである「議会だより」の制作は非常に重要となってくる。

今回の研修で学んだことを活かし、市民の皆さんが表紙を見てページを開きたくなる議会だよりを制作していきたい。